

令和 7年 10月 6日

東員町議会 議会運営委員会

委員長 山崎 まゆみ 様

議会運営委員 広田 久男

研修報告書

研修期間	<u>令和 7年 9月 29日 (月)</u> <u>～ 9月 30日 (火) 【 2日間 】</u>
研修（視察）先	9月 29日…長野県宮田村 9月 30日…長野県伊那市
目的（テーマ等）	両日とも、議会改革の取り組みについて
参加議員名 (複数の場合)	議会運営委員会委員
資料添付の有無	有 • 無

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

(字体は「BIZ UDP ゴシック」に変更しています。ユニバーサルデザインフォントと呼ぶ、誰にでも読みやすい字体)

★研修目的；議会改革の取り組みについて

1.長野県宮田村の概要（視察研修日 9月29日）

- 1) 宮田村は長野県の南部に位置する、美しい山岳地帯(南アルプスと中央アルプス)に囲まれた、自然豊かな村です。また、降雪は比較的少なく、晴天率の高い地域で、暮らしやすい気候に加え、四季折々の美しい景観も楽しめます。
- 2) 村の人口は8334人(2025年9月1日現在)、2007年くらいから人口は頭打ちとなり、現在は微減傾向にある。
- 3) 面積は 54.5km²。生活圏半径約2km と非常にコンパクトな村の中には、医療機関や福祉施設、学校が配備され、多様な子育て支援制度なども整備されており、(宝島社監修)「住みたい田舎ランキング」で全国第2位(2024年)、4年連続で上位入賞をしている移住人気の高い村である。

2.宮田村議会の概要

- 1) 議員定数は12人(現在11人)、前村長がパワハラ発言や公選法違反疑惑で辞職したことに伴い、議長を務めていた天野早人氏(46)が宮田村村長に令和7年2月から就任した。そのため、副議長を務めていた川手議員は、急きょ議長を就任している。という現状でした。

3.所感・成果(★で示す)

宮田村議会から学んだこと、見習うべき5つの点を以下に報告します。

① 「宮田村むらづくり基本条例」

2013年(平成25年)10月、議会を含めたむらづくりルールとして、宮田村むらづくり基本条例策定委員会を設置し、大学の支援も得ながら、住民・議会・行政の三者協働(25人)で丁寧な議論を重ね、2016年(平成28年)1月1日に「宮田村むらづくり基本条例」を施行している。また、合わせて議会関係法令を見直し、基本条例との整合性をとるなど、抜けがないルール整備をされている。

★本町も少なくとも年1回は議会関連の例規類を見直しチェックを実施すべきであることに気づいた。(会社時代は社内ルールの定期的な見直しチェックは、当然のように実施していた。)

(自分は議員のABCと呼び、肝に銘じている。A=当たり前のことを、B=ぼんやりせず、C=チャンとやる。)

- ② 宮田村議会の取り組みは、2020年(令和2年)に全国町村議会議長会表彰を受賞している。また、2022年(令和4年)には、第17回マニフェスト大賞において、「優秀躍進賞」を受賞している。なお、早稲田大学マニフェスト研究所「議会改革度調査」においては、村部門で2018年=全国第2位、2019年=全国第2位、2020年=全国第1位、2021年=全国第3位、2022年と2023年=全国第1位を受賞しており、高い水準を維持している。
- ★すごい。とても本町ではマネができない高い議会改革のレベルを継続している。

③ 注目すべき取り組みとしては、「議会なんでも相談室」

住民が集まっているところに出向き、住民が自由に参加でき、意見や要望を議員に伝える場を設けている。コロナ禍の後、現在は宮田村文化祭の場のみで催している。

★ぜひとも本町議会でも取り組みたいと思いました。

例えば、広報広聴常任委員会が担当して、町主催のイベントに参加し『議会広報広聴委員と話しましよう！困りごとや発想豊かなまちづくりアイデアを！』みたいなノリで、住民と身近な雰囲気を持って話し合えればよいと考えます。

参加するイベントとしては、3月=春の文協まつり、10月=わくわくフェスティバル、10月=商工祭などは展示品見学や購買目的なので、集客が見込めると考える。

④ 「主権者教育」にも見習うべきことが多々あり！

未来のむらづくりを担う世代が、議会に興味を持つてもらう機会をつくるため、2018年(平成30年)から議会として主権者教育に着手し、現在、中学校と連携しながら、総合的な学習の時間の枠組みの中で、

中学1年生を対象としたキャリア教育支援。

中学2年生を対象とした職場体験受け入れ。

中学3年生を対象とした子ども議会向け講演会。

を実施している。

また、高校生対象の教育については、「むらびと会議の委員委嘱」を通して取り組んでいる。

★「子ども議会」と比べて、より優れた取り組みであると考える。見習うべし！

⑤ 「むらびと会議」は住民参加と議員育成の大黒柱的活動や！

これは、住民に議会活動を知ってもらうとともに、住民との相互のやりとりを深め、議会活動に積極的に活かしていくこうとするもので、2021年(令和3年)に「むらびと会議要綱」を施行し、議会活動に関する評価及び提言と「議会だより」に関する評価及び提言、議会懇談会に関する評価及び提言、議会の住民参加に関する評価及び提言などを担ってもらっている。

一般委員と高校生委員を公募などで募集して取り組んでいる。

2021年(令和3年)の第1期むらびと会議は、コロナ禍の影響により、予定どおりに開催することはできなかったが、2022年(令和4年)の第2期むらびと会議(17人)、2023年(令和5年)の第3期むらびと会議(13人)、そして昨年2024年(令和6年)の第4期むらびと会議(17人)は、計画どおりに実行することができた。

★ぜひとも本町議会でも取り組みたい企画であると思います。

～以下、次ページからは伊那市議会 視察研修報告を記す～

1.長野県伊那市の概要（視察研修日 9月30日）

1) 伊那市は長野県の南部に位置し、昨日視察研修した宮田村に隣接している。

東に南アルプス、西に中央アルプスという 2 つのアルプスに囲まれ、その間を流れる天竜川や三峰川沿いには河岸段丘が広がり、良質な水にも恵まれ農業は盛んである。

また、市内を南北にはる中央自動車道や国道 153 号などの幹線道路が整備され、東京・名古屋のほぼ中間に位置していることから、商工業にとって優良な立地条件であり、工業団地がいくつも形成され、産業も栄えている。

2) 伊那市の面積は 668km²、人口は 63485 人(2025 年 9 月 1 日現在)、良好な自然環境や子育て支援が充実しており、移住希望者 特に若い世代に注目されている。

2.伊那市議会の概要

議員定数は 21 人(現在 21 人)、議員平均年齢は 63.3 歳、最高齢者は 77 歳である。

ちなみに議員報酬は 36.8 万円／月、議長報酬は 46.7 万円／月である。

3.所感・成果(★で示す)

伊那市議会選挙は 2022 年(令和 5 年)4 月に行われた、しかし、無投票であった。

市民が議会に興味を持つてもらえるように何とかしなくては、その危機感から 令和 4~6 年にかけて精力的に議会改革に取り組んできた。

★真剣に「住民福祉の向上」を考え、住民・行政・議員に賛同を得られる議長や委員長ならば、住民に必要だと認めてもらえる議会に変えることができる。議長の強い思いが伝わってきた。

(冒頭の※議長あいさつで、この議長は真剣に取り組み、かつ、できる議長であることが伝わってきた。)

※田畠正敏議長 74 歳、2 期目、印象は温厚で頑張り屋さん。自分と共通する議会への思いを感じた。

伊那市議会から学んだこと、見習うべき 5 つの点を以下に報告します。

① 住民意見を取り入れた政策提言

議員で決めた政策提言スケジュールに基づき、4~5 月にかけて集中的に住民との意見交換会を実施する。今年は延べ約 80 人(3~20 人/回)の参加者、公営住宅、自治会など日常生活に近いテーマで実施する。開始時間は夜とか午後 2 時からなど、参加してもらいたい住民が来やすい時間設定に配慮している。それでも少ない参加者である。(ワークショップ方式)

★「事務事業評価」に連動させている上手な「住民との意見交換会」のやり方だと思いました。そして、できるだけたくさんの住民に参加してもらいたいと開催時間を配慮、住民の集いの場所に出かけている。どれもすばらしいやり方である。ぜひ参考にしたい。

② 伊那市内にある高校 5 校を対象に議会傍聴・意見交換会(主権者教育)

2022 年(令和 4 年)より、市内の高校(5 校)を訪問し、議会傍聴・意見交換会などの実施を依頼。私立高校の窓口を務めている担当先生は、協力的でとても助かっている。

一方 公立はハードルが高くて？ 思うようには交流を実現できていない、とのことである。

③ 中学生キャリアフェスに参加

2023年(令和5年)の中学生キャリアフェスに、「中2興味あるある選挙」とネーミングして、将来の進路を考える地元企業や団体のひとつとして議会が参加した。

★伊那市の将来を担ってもらえる人材育成に、議会として一生懸命に取り組んでいる。

本町はここまで出来ていない。ぜひとも取り入れたい活動だと思いました。

④ 理にかなった市民サポーター制度

2024年(令和6年)から、新たに市民サポーター制度を導入している。(市民8名)

市民サポーターの役割りは、常任委員会が取り纏めた提言を聞いてもらい、市民としてさまざまな意見を出してもらうために、議員との意見交換をお願いしている。

なお、1年間務めてもらった市民には3000円程度の記念品を渡している。

★とても理にかなった「市民サポーター制度」だと感心しました。ぜひ取り入れてみたいと思います。

⑤ 9月末に行う政策提言は報道機関にも連絡

★これはグッドアイデア。マスコミを巻き込めば、議会の提言を執行部側もしっかりと受け止め対処を真剣に検討してくれるであろうと考えます。即刻本町も取り入れたいと思います。

2日間の視察研修は、参考になることをたくさん学ぶことができ、有意義でした。

以上